

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2004-101392(P2004-101392A)

【公開日】平成16年4月2日(2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-013

【出願番号】特願2002-264872(P2002-264872)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 19/56

G 0 1 P 9/04

H 0 1 L 41/08

H 0 1 L 41/18

【F I】

G 0 1 C 19/56

G 0 1 P 9/04

H 0 1 L 41/08 Z

H 0 1 L 41/18 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月12日(2004.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

水平横置きタイプの音さ型振動ジャイロセンサの従来例が以下の文献に紹介されている。(N.Shiratori, Y.Tomikawa and K.Onishi, "Experimental Investigation of Flatly Supported Vibratory Gyro-Sensor Using Quartz Crystal Trident-Type Tuning Fork Resonator", Transducers'99, No.3P2.26, pp.82-85, (1999). )

この文献で紹介されているものは3脚音さ型振動ジャイロと呼ばれているタイプである。一般に3脚音さ型振動ジャイロは、3本の音さアームの一端を固定しアームの他端をフリーにした片持ち支持構造となっている。